

杉浦 茂, 1974: 関東地方を通過する寒冷前線の局地解析, 天気, 21, 39-45.

Wolyn, P.G. and T.B. McKee, 1989: Deep stable layers in the intermountain western United States, Mon. Wea. Rev., 117, 461-472.

山本 晃, 1984a: 春季, 中部日本を通過した前線による風と気温のメソ解析, 研究時報, 36, 1-14.

———, 1984b: 関東平野の雪一雨と雪の境目一, 研究時報, 36, 131-149.

## 講演予稿集原稿の書き方

### 必ず濃い黒色インクを使って下さい

講演予稿集は、オフセット印刷により、著者の原稿をそのまま写真にとって原版とし、B5判に縮刷します。講演を申し込む会員各位は、本誌挿入の予稿用紙に、次の要領で原稿を作成のうえ、講演申込用紙とともに期限内にお送り下さい。

1. 原稿用紙 本誌挿入の用紙を使用する。1件1頁（用紙は2枚差し上げますが1枚は予備です）。
2. 文字の色 墨または黒色のインクで書く。コピーした文章を予稿用紙に貼ってもよい（ワードプロセッサでインクが薄い場合はこのほうが安全）。ただし枠外に貼りつけたり書いたりした場合はその部分は印刷されません。
3. 配置 表題：原稿用紙第1行に書く（長ければ第2行も使う）。  
著者及び勤務先：第3行に書く（著者が多ければ第4行も使う）。勤務先にはカッコをつける。  
本文：第5行目（必要な場合は順次繰り下げる）左半から書き始め右半に及ぶように書く。
4. 図及び表 用紙の枠内の任意の箇所に墨または黒色インクで直接書くか、白紙または青色方眼紙（青色以外は不可）に墨または黒色インクで書いて枠内に貼りつける。写真や図等には折り目が入らないようにして下さい。階調のある写真はうまく出ません。
5. 著作権 予稿集に掲載された文章および図表の著作権は日本気象学会に帰属する。  
(注) 大会予稿集の予約（新規）は本号挿入のはがきを御利用下さい。

## 講演用スライド等の作成について

1. スライド (35 mm マウント)・OHP 原稿は見る人の立場を考慮して鮮明に作成して下さい。表や数式の行数は1枚に7行（最高10行）が適当です。また文字の大きさには特にご留意下さい。
2. スライドの場合、マウントに番号をつけ、上下を揃えて、当日会場で担当者に渡して下さい。

講演企画委員会